

平成23年度第7回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成23年10月17日（月）10時00分～11時45分

場 所：熊本県立大学大会議室

出 席：学長	古賀 実
副学長	半藤 英明
事務局長	益田 和弘
文学部長	山田 俊
環境共生学部長	有菌 幸司
総合管理学部長	三浦 章
地域連携センター長	篠原 亮太
学術情報リサーチセンター長	津曲 隆
アドミニストレーション研究科長	黄 在南
熊本県公立高等学校長会会長	森塚 利徳
昭和女子大学教授	渡辺 満利子

欠 席：前熊本近代文学館館長 河原畑 廣

事務局：渡辺事務局次長、林田教務入試課長、高橋学生支援課長、馬場総務課長、阪本企画調整室長、田中学術情報リサーチセンター事務長、枝國地域連携センター事務長、教務入試課元島班長、同課西本主幹、企画調整室林主幹

1 開会（進行：渡辺次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成24年度入学者選抜における合格者の決定について

1) 環境共生学部自己推薦型入試

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「環境共生学部自己推薦型入試については、環境資源学科は10月8日、9日、居住環境学科は10月8日に実施した。募集人員は両学科とも4名。配点は環境資源学科が小論文100点、面接100点の合計200点。居住環境学科が、プレゼンテーション50点、面接50点の合計100点。志願者は環境資源学科が14名で県内12名、県外2名、男性が8名、女性6名、居住環境学科は21名で県内15名、県外6名で男性13名、女性8名。志願者全員が受験した。」との説明があり、続けて、有菌環境共生学部長から、資料1-2に基づき、「環境資源学科、居住環境学科とも得点が6割を超えるもののうち上位4名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## 2) 環境共生学部環境資源学科編入学試験

事務局教務入試課から、資料2-1に基づき、「環境共生学部環境資源学科編入学試験については、10月8日に実施した。募集人員は若干名。配点は小論文100点、数学・物理・化学・生物から2科目選択で200点、面接100点の合計400点。志願者は5名で、県内3名、県外2名で、全員男性。」との説明があり。続けて有菌環境共生学部長から、資料2-2に基づき、「5名志願して4名が受験。4名とも合格基準の6割を満たさず全員不合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## 3) 文学研究科(博士前期課程)秋季募集

事務局教務入試課から、資料3-1に基づき、「文学研究科(博士前期課程)秋季募集については、日本語日本文学専攻、英語英米文学専攻ともに、10月1日に実施した。日本語日本文学専攻は、募集人員は、秋季募集3名。志願者3名、受験者3名。志願者の内訳は、全員が一般選抜。英語英米文学専攻は、募集人員は、秋季募集3名。志願者7名、受験者7名。志願者は一般選抜6名、専門職業人特別選抜1名。」との説明があり、続けて村里文学研究科長から、資料3-2に基づき、「日本語日本文学専攻の一般選抜は、受験生3名が総得点の6割以上であり、全員を合格としたい。英語英米文学専攻は、一般選抜受験の6名のうち基準の6割を超える5名を合格とし、専門職業人特別選抜受験の1名について基準の6割を超えていたので合格としたい。定員をオーバーしているが、春季募集で志願者がいるかどうか不明であり、優秀な学生を確保しておきたいということ、志望する領域の担当教員も指導可能であるとのことから、6名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## 4) アドミネストレーション研究科(博士前期課程)秋季募集

事務局教務入試課から、資料4-1に基づき、「アドミネストレーション研究科(博士前期課程)秋季募集について、10月1日に実施した。募集人員は秋季・春季合わせて20名、5名が志願し、受験。志願者の内訳は、一般選抜が志願者2名、社会人特別選抜が3名。」との説明があり、続けて黄アドミネストレーション研究科長から、資料4-2に基づき、「一般選抜受験の2名のうち基準の6割を超える1名を合格としたい。社会人特別選抜の受験者3名については、3名とも基準の6割を超えるので全員合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## ② 教員の採用について

### 1) 日本思想史(文学部)

### 2) ファイナンス(総合管理学部)

事務局総務課から、資料5-1に基づき、文学部及び総合管理学部の教員採用について、これまでの審査の経緯等について説明があった。続いて、文学部長から資料5-2に基づき、「日本思想史採用人事について、公募に対して47名の応募者があった。文学

部内で選考手続きを進め、候補者を選定した。平成24年4月1日付けで准教授として採用していただきたい。」との説明があった。続いて、総合管理学部長から、資料5-3に基づき、「総合管理学部ファイナンス採用人事については公募を行ったが、総合管理学部内での選考手続きの結果適任者なしとなったため学部選考委員メンバーにより個別に候補者を探すこととし、候補者を選定した。平成24年4月1日付けで講師として採用していただきたい。」との説明があった。

審議の結果、日本思想史担当の教員採用及びファイナンス担当の教員採用について、案のとおり承認した。

### ③ 次期中期目標（素案）に対する意見について

事務局企画調整室から、資料6に基づき、「次期中期目標に関し、設立団体である熊本県から、地方独立行政法人法の規定に基づき次期中期目標（素案）に対する意見照会があったため、審議いただくものである。本会議及び経営会議、理事会での意見をいただいた上で、法人から設立団体に対して意見を提出することとなる。」との説明があり、各委員から意見を聴取した。

## (2) 報告事項

### ① ラトガス大学との学術交流に関する協定の締結について

半藤副学長から、資料7に基づき、「アメリカ合衆国ラトガス大学と本学との間で学術交流に関する覚書を締結した。」との報告があった。

## 4 その他

### 次回日程

第8回 平成23年11月14日（月）午後2時30分～ 本部棟2階大会議室

## 5 閉会